

授業科目名 <英訳>	東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 富谷 至				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	金5	授業形態	特殊講義
題目	木簡・竹簡の中国古代・中世史								
【授業の概要・目的】									
<p>そこに文字を書くための材料を書写材料という。今日の一般的な書写材料は、紙（paper）であるが紙が出現する以前、中国では、木や竹の札使われていた。木簡・竹簡と呼ばれ、また総称して「簡牘」という。</p> <p>本講義は、中国古代の書写材料である簡牘をとりあげる。簡牘という書写材料が歴史にどのような影響を与えたのかを考える。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>(1)簡牘の発見 (2)簡牘研究の歴史 (3) 木簡、竹簡の形状 (4) 簡牘の内容 (5) 簡牘から紙へ (6) 簡牘があたえた歴史への影響 などに関して解説する。</p>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
未定、受講者の人数を見て開講後決める。									
【教科書】									
授業中に指示する									
【参考書等】									
<p>(参考書)</p> <p>富谷 至 『木簡竹簡の語る中国古代』（岩波書店）ISBN:4-00-026846-5</p>									
【その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等）】									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									